

V 使用した調査票

令和6年度「男女間における暴力に関する調査」 へのご協力をお願い

アンケートご協力をお願い

この調査は、県内在住の18歳から69歳の皆様を対象に男女間における暴力等についての県民の意識や実態についてお伺いすることで、今後の対策に反映させる基礎資料とすることを目的としております。

なお、この調査は、無作為による抽出で選ばせていただいた方にお送りしております。ここでお聞きしたことを他の目的で使うことはありませんし、個人情報厳重に取り扱います。

調査にご協力いただきますようお願いいたします。

ご回答方法について

回答につきましては、**下記の方法**にてお願いいたします。

- 調査対象者ご自身がご記入くださいますようお願いいたします。
- ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- 調査票は、**必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいます**ようお願いいたします。

※ 令和6年 8月23日（金） までにご返送（ご回答）願います。

【お問い合わせ先】

富山県厚生部子ども家庭室子ども未来課
家庭福祉担当
TEL 076-444-3209
FAX 076-444-3493

【調査票送付先】

一般財団法人北陸経済研究所
TEL 076-433-1134
担当 吉田

（この調査は一般財団法人北陸経済研究所に委託しております。）

令和6年度「男女間における暴力に関する調査」

▼ あなたご自身のことについて、該当する数字を○で囲んでください。

F1 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

F2 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 2. 20～29歳
3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳

F3 あなたのご職業は？（1つに○）

1. 勤め人（常勤） 2. 勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど）
3. 自営業・家族従事者（自由業、農林水産業、
商工サービス業を含む） 4. その他の仕事（ ）
5. 学生 6. 専業主婦・主夫
7. 無職

F4 あなたの最終学歴は？（1つに○）

中退された場合は最後に卒業した学校、在学中の場合は在学している学校を選択してください。

1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校
4. 専門学校・各種学校 5. 短大（高専） 6. 大学・大学院

F5 あなたの年収は？（1つに○）

※年収は、令和5年の年間収入（税込み）で、年金や資産収入などすべての収入を含みます。

1. 収入なし 2. 100万円未満 3. 100～200万円未満
4. 200～400万円未満 5. 400～600万円未満 6. 600～800万円未満
7. 800～1,000万円未満 8. 1,000～1,500万円未満 9. 1,500万円以上

F6 現在どなたと一緒に暮らしていますか。

あてはまるものをすべてお選びください。 あなたご自身からみた続柄でお答えください。

（○はいくつでも）

1. 一人暮らし 2. 夫や妻（事実婚を含む） 3. パートナー（恋人など親密な
関係にある者）
4. 子ども 5. 孫
6. 実父 7. 実母 8. 夫や妻（事実婚を含む）の父母
9. 祖父母 10. 兄弟・姉妹
11. その他（具体的に ）

▼ 以下、質問です。該当する回答の数字を○で囲んでください。

問1 ここでは、どのような行為が**夫婦**や**パートナー**の間での暴力にあたるかについて、みなさんの意識を伺います。
あなたは、次のようなことが**夫婦**や**パートナー**の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。AからQのそれぞれについて、1から3のうち、あなたの考えに近い番号に○をつけてください。（○はAからQにそれぞれ1つつ）

※なお、「夫婦」は婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦を含み、「パートナー」は恋人など親密な関係にある者で、同居していない場合も含むものとします。（以下の問も同様とします。）

	1 どんな場合でも暴力にあたると思う	2 暴力にあたる場合とそうでない場合があると思う	3 暴力にあたるとは思わない
A 平手で打つ	1	2	3
B 身体を押す	1	2	3
C 足でける	1	2	3
D 身体を傷つける可能性のある物でなぐったり、投げつけたりする	1	2	3
E なぐるふりをして、おどす	1	2	3
F 刃物などを突き付けて、おどす	1	2	3
G 大声でどなる	1	2	3
H 他の異性との会話を許さない	1	2	3
I 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
J 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
K 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
L 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
M 「だれのおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う	1	2	3
N 相手や家族を傷つけるなどと告げておどす	1	2	3
O 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
P 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
Q 避妊に協力しない	1	2	3

問1 A～Qのうち

「2」又は「3」に1つでも○がある方は、問2へ

「2」又は「3」に○がない方は、問3へ

問2 問1のA～Qのうち1つでも「2」又は「3」とお答えの方にお聞きます。

そのような行為が「2 暴力にあたる場合とそうでない場合があると思う」、「3 暴力にあたるとは思わない」と思ったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 夫婦やパートナー間ではよくあることだと思うから
2. 夫婦やパートナー間では許されると思うから
3. 夫婦やパートナーとの喧嘩の範囲だと思うから
4. 自分の考えをとすすために必要な場合があると思うから
5. 相手の間違いを正すために必要な場合があると思うから
6. 夫婦やパートナーなら、相手の行動や交友関係を知るのは（知られるのは）当たり前だと思うから
7. 一家の大黒柱のすることには従うべきだと思うから
8. 愛情表現だと思うから
9. 暴力を振るわれた側にも非があったと思うから
10. その他（具体的に)

問3 全員にお聞きます。

あなたはこれまでに問1であげたAからQのような行為が夫婦やパートナーの間で行われたことを身近で見聞きしたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つに○）

1. 家族、親戚、友人、知人など身近な人から相談を受けたことがある
2. 身近に当事者がいる
3. 身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある
4. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
5. 見聞きしたことはない
6. その他（具体的に)
7. わからない

「3～7」のいずれかにお答えの方は、次に問5へお進みください

問4 問3で「1」又は「2」とお答えの方にお聞きます。

あなたは、身近な人が配偶者やパートナーから暴力行為を受けていることを知って、どのような行動をとりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 加害者に暴力をやめるように話した
2. 被害者に我慢するように話した
3. 被害者をかくまったり、家を出ることに援助をした
4. 被害者と一緒に病院や相談機関に行った
5. 被害者に相談機関などを紹介した
6. 何もできなかった
7. 何もする必要がないと思った
8. その他（具体的に)

問5 **全員**にお聞きます。

あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」を知っていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つに○）

（この法律は、配偶者（夫や妻、事実婚や別居中を含む。）や生活の本拠を共にする交際相手^{*}からの暴力に関わる相談などの体制を整備することにより、配偶者等からの暴力を防止し、被害者の保護を図るものです。）

※同居している（していた）交際相手等

1. 法律があることも、その内容も知っている
2. 法律があることは知っているが、内容はよく知らない
3. 法律があることを知らなかった

問6 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない → 問9へ

問7 問6で「**1. 知っている**」とお答えの方にお聞きます。

あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口として、どのようなものを知っていますか。

知っているものの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 富山県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）
2. 高岡市男女平等推進センター（配偶者暴力相談支援センター）
3. 市町村のDV相談窓口
4. サンフォルテ相談室＜富山県民共生センター＞
5. 性暴力被害ワンストップ支援センターとやま
6. 警察相談ダイヤル＜警察＞
7. 女性の人権ホットライン＜富山地方法務局＞
8. 女綱（なづな）ホットライン＜グループ女綱～ストップDVとやま～＞
9. 全国共通DVホットライン
10. その他（具体的に

問8 問6で「**1. 知っている**」とお答えの方にお聞きます。

相談した際に受けられる支援を知っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 相談又は相談機関の紹介
2. カウンセリング
3. 被害者および同伴者の緊急時における安全の確保及び一時保護
4. 自立して生活することを促進するための情報提供など
5. 被害者を居住させ保護する施設の利用についての情報提供など
6. 保護命令制度の利用についての情報提供など
7. 支援内容までは知らない

問9 **全員**にお聞きます。

婚姻歴等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(1つに○)

なお、「夫や妻」は事実婚や別居中を含み、「パートナー」は同居していない場合も含まれます。

1. 現在、夫や妻、パートナーがいる
2. 過去に、夫や妻、パートナーがいたが、離別または死別したため、現在はいない
3. 現在も過去も夫や妻、パートナーはいない 次に **問25** へお進みください

問10 問9で「1」又は「2」とお答えの方にお聞きます。

あなたはこれまでに、あなたの夫や妻、パートナーに対し、次のようなことを行ったことがありますか。また、あなたの夫や妻、パートナーから、次のようなことをされたことがありますか。最近1年間と過去の経験の状況を、次のAからDのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(○はAからDの①・②の最近1年間と過去の経験にそれぞれ1つずつ)

	① あなたが 夫や妻等に行ったこと						② あなたが 夫や妻等からされたこと					
	最近1年間			過去の経験			最近1年間			過去の経験		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
記入例 →	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
A 身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
B 心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長時間無視したりするなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、相手もしくは相手の家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
C 経済的圧迫 (例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使う、外で働くことを妨害するなど)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
D 性的強要 (例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要したり、ポルノ映像等を見せたり、避妊に協力しないなど)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3

すべての回答が「1」(まったくない)の方は **問25** へお進みください

「2」又は「3」に1つでも○がある方は、**問11** へ

「2」又は「3」に1つでも○がある方は、**問13** へ

問 11 問 10-① (あなたが夫や妻等に行ったこと) のAからDのうち、1つでも「2」又は「3」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、ご自身がなぜそのようなことをしたとお考えですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. つい、カッとなってやってしまった
2. 自分の言うことを聞かないので、相手の間違いを正そうとした
3. 相手がそうされても仕方のないようなことをした
4. 相手が自分に対して危害を加えてきたので、身を守ろうと思った
5. 親しい関係ではこうしたことは当然のことである
6. 仕事や日常生活のストレスがたまっていた
7. 酒を飲んでいて
8. その他 (具体的に)
9. 特に理由はない

問 12 あなたは、問 10-①であげたような行為をしたことについて、どのように考えていますか。

あなたの考えに近い番号 1 つに○をつけてください。(1 つに○)

1. 自分が悪かったと思い、その後は同じことをしていない
2. 自分が悪かったと思い、二度とやらないようにしたいという気持ちはあるが、その後も同じことをしてしまう
3. 自分が悪かったとは思っていない
4. その他 (具体的に)
5. 特に何も考えていない

問 13 問 10-② (あなたが夫や妻等からされたこと) のAからDのうち、1つでも「2」又は「3」とお答えの方にお聞きします。

(以下、A～Dの行為を「暴力行為」という。)

あなたはこれまでに、夫や妻、パートナーからの暴力行為によって、生活が変わりましたか。

次の 1 から 15 のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 夜、眠れなくなった
2. 心身に不調をきたした (具体的に)
3. 医療機関を受診し、精神疾患と診断された
4. 自分に自信がなくなった
5. だれのことも信じられなくなった
6. 外出するのが怖くなった
7. 異性と会うのが怖くなった
8. 人づきあいがうまくいかなくなった
9. 別居した

10 から 15 は次ページへ続く ↗

10. 携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた
11. 仕事（アルバイト）をしばらく休んだ・やめた・変えた
12. 生きているのが嫌になった・死にたくなった
13. 加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる
14. その他（具体的に _____)
15. 特に変化はない

問 14 あなたはこれまでに、夫や妻、パートナーからの暴力行為によって、医師の治療を受けましたか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つに○）

1. 命の危険を感じるくらいの重傷を負い、医師の治療を受けた
2. ケガをして医師の治療を受けた
3. ケガをしたが、医師の治療は受けなかった
4. 精神の不調により、医師の治療を受けた
5. 精神の不調になったが、医師の治療は受けなかった
6. ケガや精神の不調はなかった

問 15 あなたはこれまでに、夫や妻、パートナーから受けた暴力行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 配偶者暴力相談支援センター（富山県女性相談支援センター、高岡市男女平等推進センター）に相談した
2. 警察に連絡・相談した
3. 民生委員・児童委員に相談した
4. 法務局、人権擁護委員に相談した
5. 富山県民共生センター（サンフォルテ相談室）に相談した
6. 性暴力被害ワンストップ支援センターとやまに相談した
7. 市町村のDV相談窓口相談した
8. 電話ホットライン、メール相談、SNS相談などに相談した
9. 民間のNPO団体や専門家・専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関など）に相談した
10. 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
11. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
12. 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚、部下、取引先など）に相談した
13. 家族や親戚に相談した
14. 友人・知人に相談した
15. その他（具体的に _____)
16. どこ（だれ）にも相談しなかった

「1」～「15」
とお答えの方は、
次に 問 17 へ
お進みください



次に 問 16 へお進みください

問 16 問 15で「16」とお答えの方にお聞きます。

どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. どこ（だれ）に相談してよいかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談してもむだだと思ったから
4. 相談するほどのことではないと思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 自分にも悪いところがあると思ったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）
10. 世間体が悪いと思ったから
11. 他人を巻き込みたくなかったから
12. 他人に知られると、これまで通りのつきあい（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
13. 自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから
14. 相手の行為は愛情表現だと思ったから
15. 別れるつもりがなかったから
16. その他（具体的に _____)

問 17 行政機関の相談窓口について、相談をしやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 相談窓口や支援の内容について、積極的に広報を行う
2. 被害者が相談する場所等について、安全やプライバシーが確保されるように配慮する
3. SNSやメールで、相談を受けられるようにする
4. 夜間や休日の対応を充実させる
5. 法律や医療の専門相談を受けられるようにする
6. バリアフリーや手話、外国語による相談など、様々な相談環境を整備する
7. 同性の相談員を配置する
8. その他（具体的に _____)

問 18 あなたは、夫や妻、パートナーから暴力行為を受けたとき、どうしましたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つに○）

1. 相手と別れた  次に 問 25 へお進みください
2. 別れたいと思ったが、別れられなかった
3. 別れたいとは思わなかった

問 19 問 18 で「 2 」又は「 3 」とお答えの方にお聞きます。

別れなかった理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 仕返しが怖かったから (もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
2. 経済的な不安があったから
3. 世間体が悪いと思ったから
4. 周囲の人から、別れることに反対されたから
5. 相手が別れることに同意しなかったから
6. 相手が変わってくれるかもしれないと思ったから
7. これ以上は繰り返されないと考えたから
8. 相手には自分が必要だと思ったから
9. 別れるとさみしいと思ったから
10. 孤立してしまうと思ったから
11. 別れるほどの問題ではないと思ったから
12. 子どもがいる (妊娠した) から、子どものことを考えたから
13. その他 (具体的に

「1」～「11」
とお答えの方は、
次に **問 21** へ
お進みください

次に **問 20** へお進みください
) → **問 21** へ

問 20 問 19 で「 12 」とお答えの方にお聞きます。

あなたが、子どものことで配偶者と別れなかった主な理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○は3つまで)

1. 子どもをひとり親にしたくなかったから
2. 子どもにこれ以上余計な不安や心配をさせたくないから
3. 相手と子どもだけで暮らすことになった場合、子どもに危害が加えられる恐れがあったから
4. 子どもが反対したから
5. 出ていくなれば子どもを置いていけと言われたから
6. 自分が親権を失い、子どもと離ればなれになる恐れがあったから
7. 子どもの保育所や学校の問題 (子どもが転校を嫌がる、保育所への転入が難しいなど)
8. ひとりで養育しながら生活していく自信がなかったから
9. その他 (具体的に

問 21 問 18 で「 2 」又は「 3 」とお答えの方にお聞きます。

あなたは、相手から、現在も、問 10 の A～D のような行為を受けていますか。(1つに○)

1. 現在は、受けていない
2. 現在も、受けている

次に **問 23** へお進みください

問 22 問 21 で「**1. 現在は、受けていない**」とお答えの方にお聞きます。

問 10 の A～D のような行為を受けなくなった理由は何だと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 警察に被害届を提出したため
2. 一時期、距離を置いたため(現在は一緒にいる状態)
3. 親族・知人が仲裁に入ったため
4. 配偶者暴力相談支援センターや、市町村のDV相談窓口にご相談したから
5. 暴力行為を受けた当時は別れていなかったが、その後別れたため
6. その他(具体的に)

問 23 問 18 で「**2**」又は「**3**」とお答えの方にお聞きます。

あなたにはお子さんがいますか。いる場合、あなたのお子さんは、あなたが配偶者やパートナーから暴力行為を受けたのを見たことがありますか。または、知っていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(1 つに○)

あなたのお子さんが 18 歳未満の場合は現在について、すでにお子さんが 18 歳以上の場合は 18 歳になるまでの頃について、お答えください。

1. 子どもはいない  次に **問 25** へお進みください。
2. 子どもは見たことがある
3. 子どもは見たことはないが、音や声、様子から知っている(知っていた)
4. 子どもは知らない(知らなかった)
5. わからない

問 24 問 23 で「**2**」～「**5**」のいずれかをお答えの方にお聞きます。

あなたのお子さんは 18 歳になるまでの間に、配偶者から次のようなことをされたことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 身体的虐待(例えば、なぐる、ける、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する、長時間外に放置するなど)
2. 性的虐待(例えば、子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、児童ポルノの被写体にするなど)
3. ネグレクト(例えば、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど)
4. 心理的虐待(例えば、言葉による脅し、無視、兄弟姉妹間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう、兄弟姉妹に虐待行為を行うなど)
5. わからない
6. まったくない

問 29 あなたの 10 歳代から 20 歳代の経験についてお聞きます。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。

あなたには、その当時（または現在）、交際相手がい了吗か。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。（1 つに○）

1. 交際相手があった（いる）
 2. 交際相手はいなかった（いない） ➡ 次に 問 35 へお進みください

問 30 問 29 で「1」とお答えの方にお聞きます。

あなたは、10 歳代、20 歳代のときに、交際相手に次のようなことを行ったことがありますか。

また、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。A から D のそれぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○は A から D の①・②のそれぞれに 1 つ以上、いくつでも）

	① あなたが 交際相手に行ったこと			② あなたが 交際相手からされたこと		
	1 ま っ た く な い	2 10 歳 代 に し た	3 20 歳 代 に し た	1 ま っ た く な い	2 10 歳 代 に あ っ た	3 20 歳 代 に あ っ た
記入例 →	1	2	3	1	2	3
A 身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3	1	2	3
B 心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長時間無視したりするなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、相手もしくは相手の家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3	1	2	3
C 経済的圧迫 (例えば、相手の給料や貯金を勝手に使う、デート代や生活費を相手に無理やり払わせるなど)	1	2	3	1	2	3
D 性的強要 (例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要したり、ポルノ映像等を見せたり、避妊に協力しないなど)	1	2	3	1	2	3

①の回答に関わらず、
 ②の「2」または「3」に○がない方は
 問 35 へお進みください

②で「2」又は「3」に
 1 つでも○がある方は
 問 31 へお進みください

問 31 問 30-② (あなたが交際相手からされたこと) のAからDで、1つでも「2」又は「3」とお答えの方にお聞
きします。

あなたは、交際相手から暴力行為を受けたとき、どうしましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。
複数の交際相手から暴力を受けた方は、最も深く傷ついた経験についてお答えください。(1つに○)

1. 相手と別れた  次に 問 33 へお進みください
2. 別れたいと思ったが、別れられなかった
3. 別れたいとは思わなかった

問 32 問 31 で「2」又は「3」とお答えの方にお聞きます。

別れなかった理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 仕返しが怖かったから (もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
2. 経済的な不安があったから
3. 世間体が悪いと思ったから
4. 周囲の人から、別れることに反対されたから
5. 相手が別れることに同意しなかったから
6. 相手が変わってくれるかもしれないと思ったから
7. これ以上は繰り返されないと考えたから
8. 相手には自分が必要だと思ったから
9. 別れるとさみしいと思ったから
10. 孤立してしまうと思ったから
11. 別れるほどの問題ではないと思ったから
12. 子どもがいる (妊娠した) から、子どものことを考えたから
13. その他 (具体的に)

問 33 あなたは、交際相手からの暴力行為によって、医師の治療を受けたことがありますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。(1つに○)

1. 命の危険を感じるくらいの重傷を負い、医師の治療を受けた
2. ケガをして医師の治療を受けた
3. ケガをしたが、医師の治療は受けなかった
4. 精神の不調により、医師の治療を受けた
5. 精神の不調になったが、医師の治療は受けなかった
6. ケガや精神の不調はなかった

問 34 あなたは、交際相手から受けた暴力行為によって、生活が変わりましたか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 夜、眠れなくなった
2. 心身に不調をきたした(具体的に)
3. 医療機関を受診し、精神疾患と診断された
4. 自分に自信がなくなった
5. だれのことも信じられなくなった
6. 外出するのが怖くなった
7. 異性と会うのが怖くなった
8. 人づきあいがうまくいかなかった
9. 転居(引越し)した
10. 携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた
11. 仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・変えた
12. 学校・大学をしばらく休んだ・やめた・変えた
13. 生きているのが嫌になった・死にたくなった
14. 加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる
15. その他(具体的に)
16. 特に変化はない

問 35 **全員**にお聞きます。

男女間における暴力を防止し、また、被害者を支援するために、どのようなことが必要だと考えますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 家庭や学校等で、暴力を防止するための教育を行う
2. 地域で、暴力を防止するための研修会・イベントなどを行う
3. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
4. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
5. 加害者への罰則を強化する
6. 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピュータソフトなど)を取り締まる
7. 相談窓口の機能を充実させる
8. 相談しやすい環境を整備する
9. 被害者が一時的に避難するための施設を整備する
10. 被害者の体や心のケアを行う体制を整備する
11. 警察・役所・民間団体等と連携し、自立まで切れ目のない支援体制を整備する
12. 就業や住宅の確保など、被害者の生活基盤確立を支援する
13. 男性被害者への支援(具体的に)
14. その他(具体的に)
15. 特にない

問 36 夫婦や恋人同士など男女間での暴力防止について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

※ アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
もう一度、記入もれがないかご確認ください。
同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。